

小学校6年 動画制作を取り入れた6年政治学習の実践 ～学校放送番組「しまった！」の活用～

京都市立向島秀蓮小中学校 堀川 紘子

【実践報告の概要】

本実践を通して、選挙への関心を高め若年層の投票率を上げるという問題解決のために動画制作に取り組み、子どもたちが協働して問題解決しようとする姿が見られた。学校放送番組「しまった！～情報活用スキルアップ～」を活用することで、動画づくりの基本について学ぶことができ、学習に意欲的に取り組むことができた。

【取組の具体】

6年社会科「政治・国際編」（東京書籍）の「国の政治のしくみと選挙」、「震災復興の願いを実現する政治」を1つの単元として捉え、単元終末に動画制作を取り入れた。

1. 選挙啓発動画の視聴と分析

・若者の投票率の低さを知り、自治体が制作している選挙啓発動画を視聴。どのような情報が含まれているかクラゲチャートを用いて分析する。



2. 選挙啓発動画づくりの評価基準を決める

・社会科および情報活用の視点として評価基準を決め、今後の動画づくりの指標とする。

3. 動画の構成を考える

・ロイロノートスクールを活用し、グループごとに動画の構成について考える。

4. 学校放送番組「しまった！」の視聴

・動画で伝える技(3)編集編を一斉視聴。

5. 選挙に行きたくなる動画コンテスト

・それぞれのグループが制作した動画を視聴。
・第2時で考えた評価基準をもとに採点。
・優秀作品を決める。

	1	2	3	4	5	6	7	8		
社会	選挙の大切さが伝えているか	3	4	5	3	4	5	4	5	27
	授業で習ったことがわかるか	3	5	4	4	3	5	3	5	26
	事例や資料が効果的に使われているか	3	3	5	4	4	4	3	4	12
情報活用能力	要点がまとめられているか	2	4	4	3	4	5	4	3	22
	大事なところだけわかってもらえるか	3	4	4	5	4	5	4	4	26
	興味をひく工夫があるか	4	4	3	5	5	5	5	5	30
総合	動画を作成する目的や動画の内容が一致しているか	4	3	4	4	5	4	5	4	

15分 22 23 29 31 29 33 28 30
 自分らが一番はにかいて思っているし、おもしろいと思ってるし、一生懸命に考えて作ったから、ちゃんとできるように、大事な事分岐、見出しみたいにして分かるようにしたから。

【活用番組と実践者による番組分析】

活用番組「しまった！～情報活用スキルアップ～」

- 陥りやすい「しまった！」ポイントの提示がある。
- 動画編は3本構成になっており、より詳しく動画づくりのポイントを学ぶことができる。
- 1人1台端末だからこそ学ぶべき情報活用スキルが提示され、GIGA 端末をどのように活用すべきか考えることができる。
- 様々な教科において活用できるラインナップが揃っている。

【本実践における工夫点】

若者の投票率をあげるという使命感をもつ

- ・子どもたちにとって実感のもちにくい政治学習において、学んだことが誰かの役に立つという使命感がもてるようにした。
- ・動画制作を通して、学んだことを誰かに伝えるという形式にすることで、学習した内容がより定着するようにした。

1人1台端末 (GIGA 端末) の有効活用

- ・子どもたちに授業時間において、目的意識をもって端末を活用する機会を確保し、情報活用スキルや情報活用能力を高めていきたいと考えた。



【本実践の成果と課題】

【成果】

- ・番組を視聴し、動画制作のポイントについて常に意識することができた。
- ・評価基準を自ら考えたことで、学習で目指す姿を意識して学習に取り組むことができた。
- ・自分たちの学びが誰かの役に立つという使命感から学習に意欲的に取り組むことができた。

【課題】

- ・1人1台端末だからこそ情報収集の際の情報の読み解きの個人差が作品にも表れた。日頃から意識的に情報の読み解きに力を入れた指導をしていきたい。